
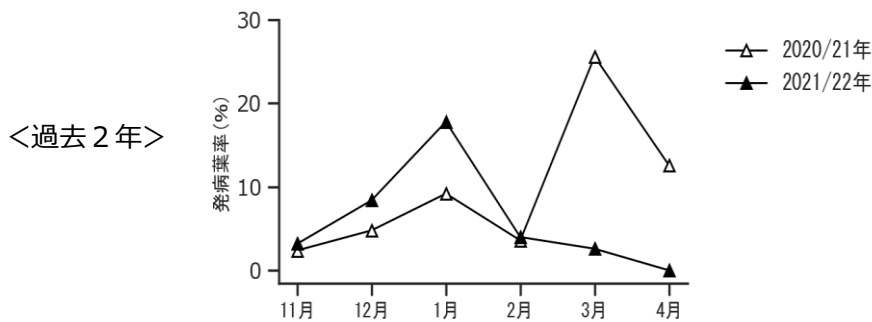
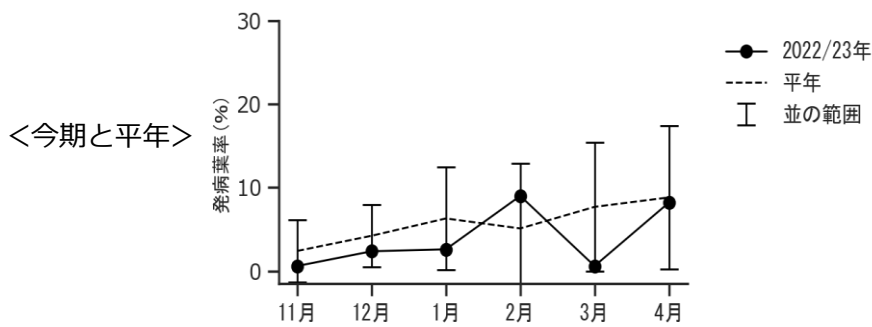


作物	ニガウリ(施設)		地域	宮古群島
病害虫名	うどんこ病			
調査結果	4 月の発生量 (平年比)	並		
予 報	4 月からの増減傾向	—		
	5 月の発生量 (平年比)	—		
予報の根拠				

調査結果


発病葉率の推移



・発生施設率20.0% (平年 : 48.0%)

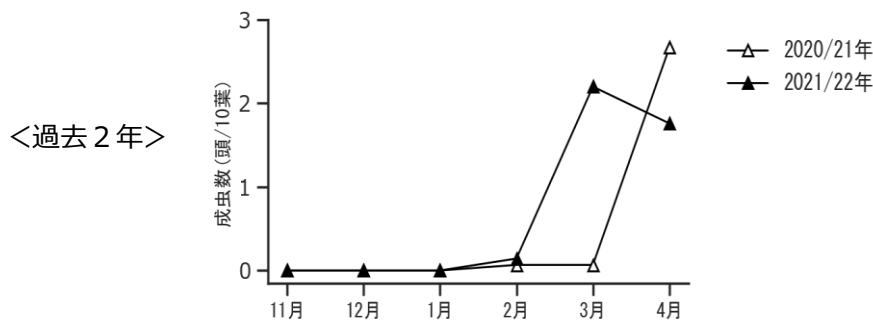
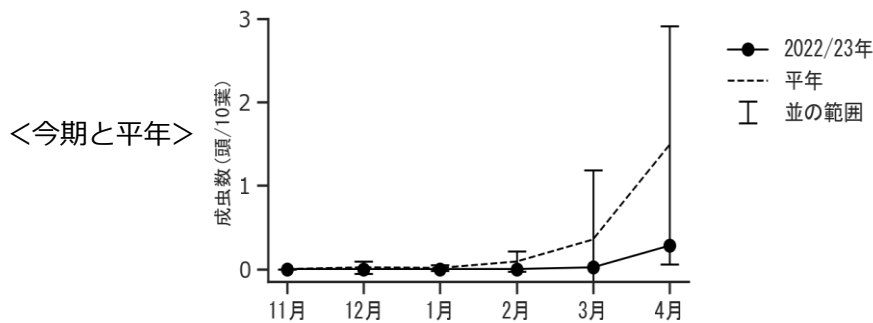
防除のポイント

- ・多湿条件で発生し、その後乾燥が続くと被害が拡大するため、湿度管理に注意する。
- ・過繁茂を避け、透光通風を良くする。
- ・老葉や病葉は伝染源になるので除去し、施設外に持ち出し処分する。
- ・多発すると防除が困難になるため、予防散布に重点をおく。硫黄粉剤による予防は効果が期待できる。

作物	ニガウリ(施設)		地域	宮古群島
病害虫名	ミナミキイロアザミウマ			
調査結果	4 月の発生量 (平年比)	並		
予報	4 月からの増減傾向	—		
	5 月の発生量 (平年比)	—		
予報の根拠				

調査結果


成虫数の推移



・発生施設率20.0% (平年 : 42.9%)

防除のポイント

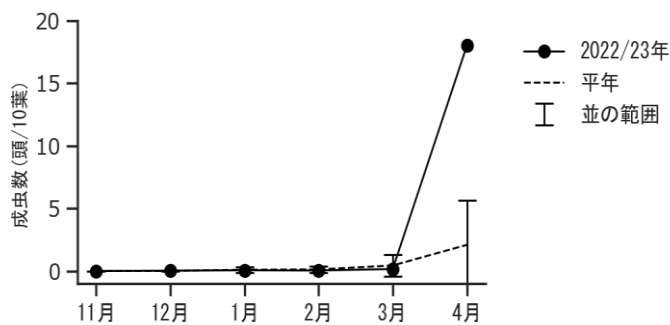
- ・本種は吸汁により果実表面にケロイド状の被害を生じるほか、スイカ灰白色斑紋ウイルスを媒介する。
- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合い0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

作物	ニガウリ(施設)	地域	宮古群島
病害虫名	タバココナジラミ		
調査結果	4 月の発生量 (平年比)	多	 <p>成虫</p>
予報	4 月からの増減傾向	—	
	5 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

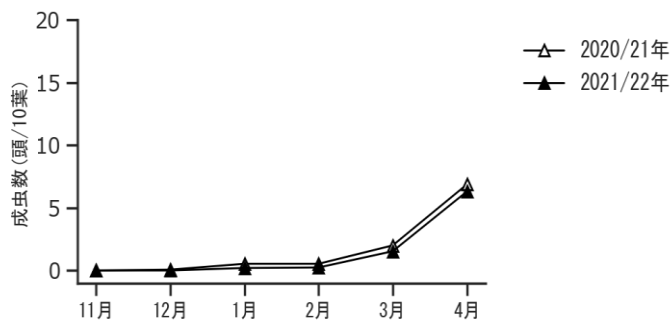
調査結果

成虫数の推移

<今期と平年>



<過去2年>



・発生施設率40.0% (平年：44.0%)

防除のポイント

- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目合い0.6ミリ以下のネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。



幼虫